



令和4年10月3日

報道機関 各位

第107回 島根大学サイエンスカフェ 開催のご案内【10/17(月)】
「 営農型太陽光発電—作物生産と太陽光発電の共存に向けた研究紹介 」

◆本件のポイント！

本講演では、研究成果を中心に営農型太陽光発電の研究事例を紹介します。

◆本件の概要

「島根大学サイエンスカフェ」は、社会の様々な課題の解決や持続的な発展について参加者と研究者との「対話」と「協働」の場として発展させるべく、令和2年度から「島根大学サイエンスカフェ—島根からつなぐ！SDGs」をテーマに開催しております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomによるオンライン方式で開催いたします。

◆概要内容

第107回島根大学サイエンスカフェ

「営農型太陽光発電—作物生産と太陽光発電の共存に向けた研究紹介」

講師：李 治 助教(島根大学 生物資源科学部 環境共生科学科)

日時：令和4年10月17日(月)15:00~16:10

会場：Zoomによるオンライン開催

その他：先着100名、参加無料、事前申込み必要[申込期限:10月17日(月)13:00]

▼詳しくはこちら

https://www.shimane-u.ac.jp/social-contributions/lifelong_study/sciencecafe/sciencecafe.html#107cafe



◆本件の連絡先

島根大学 研究・地方創生部 研究推進課

TEL: 0852-32-9844 E-mail: rsd-kenkyu[at]office.shimane-u.ac.jp

※[at]は@に置き換えてください

【添付資料: あり(1枚) なし】

営農型太陽光発電

ー作物生産と太陽光発電の 共存に向けた研究紹介

エネルギー・環境問題が深刻な今では、あらゆる分野において省エネ化に資する技術開発が求められています。温室栽培において、商用電力や燃料が投入されることがあります。太陽光発電を含む再エネの利活用は、化石由来のエネルギー消費量を削減できます。しかし、作物の光合成と太陽光発電はともに日光が必要なため、同一地点で両者の共存は難しい挑戦です。今回は私の研究成果を中心に営農型太陽光発電の研究事例を紹介します。



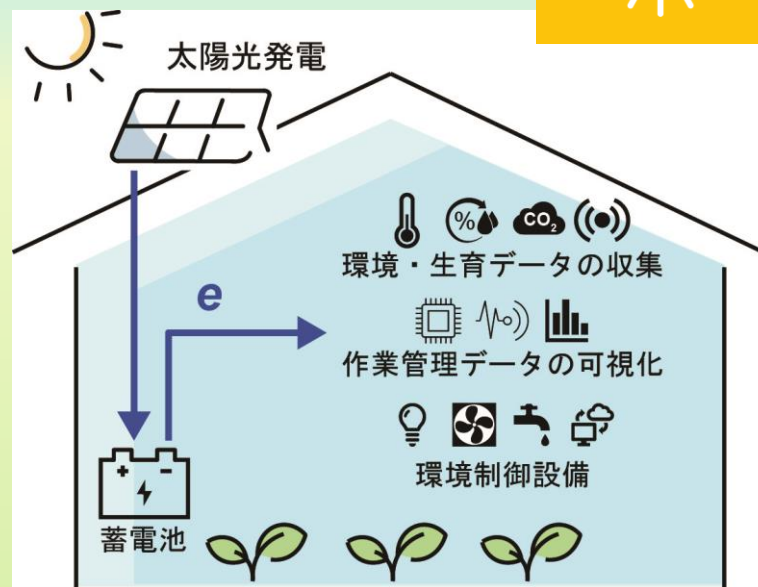
講師

李 治 助教

(島根大学 生物資源科学部 環境共生科学科)

講師紹介:

専門は、環境・農学/農業環境工学、農業情報工学。
省エネルギー化の視点から、太陽光発電や電気工学
を利用した環境制御システムの開発について研究して
います。



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



Zoomによる
オンライン開催
先着100名・参加無料



こちらから
お申込み
いただけます。



https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/science_cafe1017

申込締切 10.17(月)13:00

日時

2022.10.17(月)

15:00~16:10

司会：吉田 修 URA
(島根大学 オープンイノベーション推進本部)